

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No. 5)

令和4年6月28日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生時期、発生量ともに平年並となっている。

2. 情報の根拠

- (1) 6月下旬現在、県予察ほ場（園芸試験場、殺ダニ剤無散布）におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は1145.8頭（平年：926.7頭）で、平年並となっている（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生時期は平年並、発生量は平年に比べてやや多いと予想される。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場、殺ダニ剤無散布ほ場）*

月・旬	本年**	平年***
5・上	2.8	5.2
5・中	7.0	7.0
5・下	194.0	97.6
6・上	991.4	365.4
6・中	346.2	617.7
6・下	1145.8	926.7

*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

**：R3年度より調査樹を変更

***：平年値は過去4年（H30年～R3年）の調査結果から算出

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晚の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は追加防除を行う。

(参考)

防除区（3月12日にハーベストオイル100倍液を散布、5月23日にモベントフロアブル2,000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活消長

表2 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場）*

月・旬	防除区	無散布区
5・上	3.2	2.8
5・中	8.0	7.0
5・下	187.0	194.0
6・上	0	991.4
6・中	0	346.2
6・下	0	1145.8

*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）